



溶融冷却装置 スプレークーラー Cシリーズ

溶融冷却ならではの流動性

シリーズ型式からのスケールアップが可能



経験×技術

基本設計に加えて実際の試験結果を元にした詳細設計を行うことにより、原料の特性を考慮した装置を製作します。積み重ねた経験により高水準の回収効率を実現し、原料ロスの少ない設計製作をします。装置の制御関連、FA化までフォローができる人材、技術体制が整っています。

柔軟な設計・製作

各種噴霧方式の選定が可能です。スプレークーラー（溶融冷却）およびスプレードライヤーの双方の使用ができる装置設計が可能です。水溶媒と有機溶媒の双方で運転できる装置設計が可能です。高純度材料の処理等を考慮し、耐熱HEPAフィルター（最大500℃）を取付することが可能です。噴霧状況確認の視認性を考慮し、広い点検窓を採用しています。

型式	ドライヤー本体内径	概略配置寸法 X×Y×H (mm)	原液処理量 (参考値)
C220	φ2200mm	3700×3900×3900	48kg/h
C240	φ2400mm	3900×4400×4400	60kg/h
C260	φ2600mm	4200×4900×4900	72kg/h
C290	φ2900mm	4500×6300×5500	80kg/h
C300	φ3000mm	4600×6500×5700	90kg/h

※概略配置寸法は熱風発生装置、サイクロン、バグフィルターを含めた寸法となります。
※原液処理量は参考値であり、原液の特性、噴霧方式、凝固温度等により変動します。